

キューバ 革命50年の足跡③

山上紘志 (堺市)



歯科クリニックの所長と山上氏(右)

キューバのファミリードクターは、医師1人に対し、平均して120世帯または1000人前後を受け持ち、住民の健康

維持や予防医療に活躍している。今回はファミリードクターからの紹介患者の治療をおこなうポリクリニコ(市町村総合診療所)について報告する。ポリクリニコはすべての地域にある、いわば小さな病院だ。それは地域医療の本部の役割を担っている。キューバ厚生省のホセ博士の説明によれば、この施設には全診療科と総合的な設備が整っている。ここでは、治療だけでなくラポトリ

医療制度、一番の基礎は予防

地域担う総合診療所「ポリクリニコ」

「やりハビリテーション」施設もある。ポリクリニコは全地域で488カ所ある。人口2万人弱の住宅地のワナボウ町のポリクリニコを視察した。そこで歯科医学生が実習中の歯科診療室を見学した。プラジルの開業医が使っていた中古のデンタルチェアが3台あった。それらはよく故障し、そのうち1台は機能していなかった。技工室も併設され、学生も含め3人が義歯の技工をしていた。歯科の女性所長はう蝕予防に重点を置いていて強調していた。日本から持参した歯ブラシをお渡しした。このポリクリニコも女性の医療従事者が多い。キューバでは、医師の60%が女性で、8万7000人以上の医療技術者のうち70%が女性である。ホセ博士はこう語っていた。キューバは貧乏な国だから、新しい近代的な医療設備を賈えるお金がない。だからキューバの医療制度の一番大切な基礎は予防医療制度だ。このことは医療機器に限ったことではない。コンピュータを搭載していない修理可能な1950年代の自動車も現役である。また、公的機関の従事者以外の住民はパソコンや携帯電話を保持していない。(つづく)

募集再開へ要請強める

共済加入者のつどいに2200人

第12回「共済加入者のつどい」が3日、大阪市内で開かれ、歯科・医科共済制度加入会員や家族、委託生保関係者ら2200人が参加した。あいさつに立った山上紘志副理事長は、休業保障の原状復帰に道を開いた協会・保団連運動に触れ、一刻も早く募集再開できるように引き続き政府に要請を強めていくことを説明した。委託生保が4社から7社に増えた保険年金について、「より安定性・安全性が高まった」と述べ、加入を呼びかけた。



第12回「共済加入者のつどい」の様子。参加者ら2200人が参加した。

記念行事では、「OSAKAサミットプラス」が金管合奏を披露した。

四ツ橋の名前の由来をご存知だろうか？橋が多かった大阪のこと、四つの橋があったのだらうなど、気づかれると思う。でも今は橋どころか、川もない。

かつて、四ツ橋は南北に走る西横堀川(今は阪神高速)、東西に長堀川(長堀通)の交点に位置していた。北に上繋橋、南に下繋橋、西に炭屋町橋、東に吉野屋橋がかか

っていた。物を運ぶのに昔は水運が中心だったのだ。縦横の大きな堀が交差する四ツ橋は大変な賑わいだったと想像される。

さらに1908年、市電が南北線、東西線が開業する。その交点になるのが、またこの四ツ橋なのである。この時まで、南北には大通りと言えぬのは堺筋しかなく、東西の通りの方が、道幅が広がった。したがって、このときに、四ツ橋筋は市電

が通れるように新設された。もちろん、荷車ぐらゐしか通っていないかった。それまでの道は格段に広く作られた。では、どうして堺筋ではなく、こちらに新設したのか。この当時の大阪の中心はここであ

ったものと想像される。ただ、その繁栄は長続きせず、1922年、市電堺筋線が開業し商業の中心が徐々にこちらに移転することとなる。百貨店も三越、白木屋、高島

屋、松坂屋などもこの筋に立つようになった。明治維新で、外国との交渉が重視されていた関係で、府庁市役所、大型船が泊まれる港、居留地、税関など大阪の西側に設置されていたものが、替わっていく。港には元来大きな船は入れず、神戸港の方に行き、それに伴って居留地は寂れて無くなり、市役所が中之島に、戦後、府庁までも移転する。そして、1933年にできた御堂筋がある。この御堂筋には、はじめから、直接地下鉄が通るようになる。

縦横の堀の交差点

また、作られたかという。北の梅田、南のなんば、湊町、東美須町という当時の鉄道のターミナルを結ぶため、最近発掘調査が行われている初代の府庁、市役所が西

区代府庁、市役所が西

区代府庁、市役所が西

区代府庁、市役所が西

区代府庁、市役所が西



大阪市西区・四ツ橋交差点の四ツ橋跡の碑

おどろか ウォーミンチンダ

232

車社会に移行しつつあった当時、戦後のジェーン台風の水害により防水

協会行事案内

- 大阪市西部地区 歯内療法成功の鍵パート3・感染根管治療
- 日時 10月2日(日) 午前10時〜午後1時
- 会場 M&Dホール 定員 1000人
- 講師 木ノ本喜史氏(大阪大学歯学部臨床教授・吹田市開業)
- 会費 会員無料、未入会者1万円
- 大阪市南部地区 歯科における嚙下内視鏡の活用
- 日時 10月10日(月・祝) 午前11時〜午後1時
- 会場 M&Dホール 定員 1000人
- 講師 野原幹司氏(大阪大学歯学部付属病院顎口腔機能治療部医長)
- 会費 会員無料、未入会者1万円
- パソコン記帳講座
- 日時 10月15日・22日 午後2時30分〜5時30分
- 場所 京橋・弥生方レゾナンスCMC (TEL06-4800-6803) JR京橋駅「南口」出て右徒歩3分「大発ビル」
- 講師 柄溝宗生氏(協会税理士団)
- 会費 1万円(2回分) 定員 25人
- 対象 会員、家族、会員院所スタッフ
- 10月度生涯研修 開業医に必要な唾液と口腔乾燥症の診査
- 日時 10月16日(日) 午前10時〜午後1時
- 会場 M&Dホール 定員 1000人
- 講師 柿木保明氏(九州歯科大学摂食機能リハビリテーション学教授)
- 会費 会員3000円、未入会者1万円
- 大阪市西部・南部・東部地区 洗練された接客・マナー上級編
- 日時 10月16日(日) 午前10時〜午後1時
- 会場 保険医会館 定員 50人
- 講師 西出知子氏(接客マナーインストラクター)
- 会費 会員院所スタッフ3000円
- 保険でよい歯科医療を大阪連絡会
- いの中の食育「エゴ」の視点で身を守る食べ方
- 日時 10月16日(日) 午後2時30分〜4時30分
- 会場 M&Dホール 定員 1000人
- 講師 山崎万里氏(千代田短期大学非常勤講師、家庭栄養研究会顧問)
- 会費 無料
- 大阪市東部・北部地区日帰り旅行 伊根の舟屋をめぐり 名店油屋別館和亭で海の幸を堪能する日帰りバスツアー
- 日時 10月23日(日) 午前8時〜午後6時30分
- 集合 京都 丹後・奥伊根 定員 45人
- 会費 難波8時、梅田8時30分
- ※最低催行人数20人。人数に達しなかった場合は中止とさせていただきます。
- 中止の場合は、10月11日頃にご連絡いたします。
- 未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
- ※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564